

視聴覚教育

NO. 437

発行日

29. 12. 1

編集・発行

岡崎市AVL

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

これ知ってる！？ 著作権フリー

著作物の利用に「料金が発生しないこと」を指し、「著作権が放棄された」ということではない。著作権フリーであっても加工利用や商用利用を禁止している場合があるので、注意が必要だ。効果音等をダウンロードして利用する場合、利用規約は必読である。

Ⅱ視聴覚教育あれこれⅡ 視聴覚機器保有調査の結果

九月に行われた視聴覚機器保有調査では、主に①機器の保有数と②購入予定または購入を希望している機器について調査した。

①機器保有数について

昨年度と比べ、小中全体でワイヤレスアンプ（CDまたはSDカード付き）、デジタルビデオカメラ、デジタル音声レコーダー（ICレコーダー、SDレコーダーなど）の四項目が増えた。

中学校で、ビデオプロジェクタ（三五〇ルーメン以上）の一枚あたりの平均保有数が昨年度の〇・八台から一・一台に増加し、

数値的には一校に一台以上保有されるようになった。また、小学校では、教材提示装置、黒板貼り付け型スクリーン、電子黒板（一体型）が増加した。

②購入予定または購入を希望している機器についてワイヤレスアンプ（十校）、プロジェクタ（十校）、デジタルビデオカメラ（九校）、デジタルカメラ（九校）、教材提示装置（八校）の予定・希望が多い。

ワイヤレスアンプは、購入を希望している十校のうち、小学校が九校を占めていた。また、プロジェクタの購入を希望している学校の十校のうち、三校は短焦点プロジェクタを希望している。タブレットPCは、小学校で、希望する学校が六校あった。

今後は、各学校で整備された機器の積極的活用を促進し、ICT活用を推進することが求められる。

手段としてのICT活用

学習情報指導員 近藤 雄一

「先生、SNSってこわいね」

道徳の時間での情報モラルの授業において、疑似体験アプリの画面が教材提示装置で大型ディスプレイに映しだされた一場面である。情報モラルの授業だからICTを使う、というわけではない。どの教科・領域の授業でも、パソコン、デジカメ、大型ディスプレイ、教材提示装置やタブレットPCなど、さまざまなICTが活用できる。それは、ICTに対する興味関心そのものだけでなく、ICTのもつ特徴である遠隔性・即時性や、映像、動画や音声などが子供の感覚を刺激し、学習意欲を高めるからである。

次期学習指導要領の総則には、言語能力や問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力の一つとして、情報活用能力（情報モラルを含む）の育成が加わった。全ての学習の基盤としての情報活用能力は、教科等横断的な視点に立ち育成が図られるべき重要な要素となった。

情報活用能力の育成が急務となってきた背景には、情報化やグローバル化など急激な社会的変化がある。今後は、急速に進化するICTなどの技術を使いこなす素地を、全ての子供たち

に育んでいくことが重要である。そのためには、学校教育の現場においても、ICTを活用した授業を行い、未来の創り手となるために必要な知識や資質・能力を備えることのできる学校教育を実現することが必要である。

しかし、大型ディスプレイで映像を映したりタブレットPCを使って調べ学習をしたりと、ICT機器を使いさえすれば子供たちの学びが成立するとは限らない。私たちが授業を組み立てるときには、授業の目標や目指す子供像の設定から始め、次にその目標達成に必要な活動の計画を立てる。その活動に最適な手段の一つとして、ICTの利用を考える。

つまり、子供の確かな学びを保障できる授業計画を立てることが重要であり、ICTはその実現のための有効な手段として効果的な利用を検討することが求められている。子供たちを確かな学びへと導くため、手段としてのICTを先生方の引き出しに加わえてほしい。

子供たちに、できるだけ現実のSNSでのやりとりを意識させたいと考え、ICTを活用した道徳の時間。スマホを持たない子供たちにも分かりやすく授業が進んだ。先生の思いは届いた。私たちは、手段としてICTを積極的に活用できる授業を工夫していきたい。

主なデジタル機器の平均保有数

機器名	小学校		中学校		小中全体	
教材提示装置	15.9	(15.8)	11.2	(11.5)	145	(14.5)
HDDデジタルビデオカメラ	2.2	(2.1)	2.7	(2.6)	2.4	(2.2)
プロジェクター(3500ルーメン以上)	0.7	(0.6)	1.1	(0.8)	0.8	(0.7)
デジタル一眼レフカメラ	1.1	(1.1)	1.7	(1.7)	1.2	(1.3)

単位：台 (): 昨年度の数値

実践報告II

大型ディスプレイで「魅せる」ブックトーク

大門小学校 後藤 有貴

本校ではブックトークと読み聞かせを併用し、読書に対する意欲を高めている。しかし、物語の内容についてこられず、読み聞かせに集中できない児童もいた。そこで、より印象に残る読み聞かせをしたいと考え、遊び心のある教材を制作した。

まず、著作権に留意しつつ絵本の挿絵をスキヤナで撮り込み、プレゼンテーションソフトで読み聞かせと合わせて順番に挿絵を出せるようにした。次に、情景に合った効果音(著作権フリーの物を使用)を用意し、物語に合わせて音が鳴るようにした。これを大型ディスプレイに写し、児童を物語に入り込ませる読み聞かせができるようになった。

児童は、挿絵や効果音に驚きながらも、通常の読み聞かせより集中して聴くことができた。読み聞かせ後に読書の時間を設けたところ、普段はなかなか本を手にとらない児童が、紹介した本を早速読んでいた。児童は「いつもの読み聞かせよりおもしろくて、すぐに本が読みたくなりました」と感想を書いた。ICTを活用した臨場感溢れる読み聞かせを行うことで、児童をより物語の世界へと入り込ませることができ、読書への意欲を高めることができた。視覚・聴覚に訴える効果が高いICTは、読み聞かせの場においてもその効果が確認された。



レッツ・トライ! ICT II

今回紹介する機能

OKサイン「校内掲示板」

OKサインを起動すると、「最新情報」に掲示板の件名が並んでいる。主に教育委員会からの連絡が掲載されており、派遣依頼などの学校事務に関する連絡を確認することは、各学校で徹底されていることだろう。みなさんはこの「掲示板」に、「校内掲示板」があるのはご存じだろうか。

上部の「掲示板」リボンをクリックすると掲示板一覧が表示され、その最下部に「校内掲示板」がある。これは校内専用の連絡用掲示板であり、校内の職員なら誰でも連絡を書き込むことができる。書き込んだ内容は、校内の職員のOKサインにのみ表示される。全職員に連絡を伝えるためには、連絡事項が記載されたプリントを印刷して配付することが多いが、校内掲示板を使えば、印刷の手間が省け、紙も使わず環境に優しい。ぜひ全職員で共通理解して利用してほしい。

ただし、職員が校内掲示板を確認できる場所は限られており、情報掲載のタイミングには注意が必要だ。時間的に余裕のある連絡は校内掲示板で、緊急の連絡はプリントなどで、それぞれのよさを生かして使い分けると効果的である。



ライブレコーダーだよ

●教育行事の映像の記録と提供について

視聴覚ライブレコーダーは、岡崎市内で開催される各種教育行事の撮影を行っています。撮影した映像は編集して、CATVミックスのチャンネル「おかざき」に番組配信しています。(放送時間 毎日午前10時～正午の2時間)平成29年度も、市内小中学校の市委嘱研究発表会、各種教育行事の撮影を行いました。なお、市委嘱研究発表会については、全体発表から講評まで全てを収録した記録DVDを発表校向けに提供しています。

◇平成29年度の主な制作番組

- ・第61回岡崎市中学校総合体育大会
- ・第59回岡崎市小中学生英語スピーチフェスティバル
- ・第31回岡崎市中学生の主張コンクール
- ・第64回理科、第44回技術家庭科作品展
- ・第54回造形おかざきつ子展
- ・第45回岡崎のハーモニー

●CD・DVDコピー専用機

(デュプリケーター)の御利用を!

CD・DVDを同時に8～9枚までコピー可能なデュプリケーター(4台)を、視聴覚ライブレコーダーで利用できます。パソコンでのコピーより操作が簡単で、短時間に多くの枚数を作成できます。文化祭や学芸会、体育大会などの学校行事の保存用ディスク作成等に御活用ください。(著作権等には十分御注意ください)



(常磐南小学校 学習情報主任 黒柳成実)